

# 平成22年度補助金等報告書

財団法人 水と緑の惑星保全機構

(1) 年間収入 (総収入 - 前期総繰越)		157,887千円 (A)	
(2) 補助金等の交付実績額			
名 称	補助金・委託費の別	交付官庁	金 額
平成22年度里地里山保全活動支援委託業務	委託費	環境省	14,910千円
合 計			14,910千円 (B)
(3) 補助金等の年収比率		9.44% (B / A)	

\* 百円単位四捨五入

## 補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	平成22年度里地里山保全活動支援委託業務		
2. 事業の目的及び内容	<p>(1) 目的</p> <p>生物多様性の保全は、現場の視点からさまざまな仕組みを考えて行くことが必要であり、地域ごとのさまざまな経験から生まれた適正な管理のための智慧を活かして人づくりを進めるとともに、地域での自主的な活動を尊重しつつ、活動地域間の「人」と「情報」のネットワークを構築することで活動を活性化し、拡大していく視点が重要とされている。</p> <p>このことを踏まえ、特徴的な取り組み事例を収集・分析し、情報発信を行うとともに、新たな里地里山の活用方策、多様な主体による参加促進方策等について検討を行い、技術的な方策の情報提供を行うことにより全国的な里地里山の保全活動を促すことが必要であり、本業務では、NPO、ボランティアなどの活動団体を主たる対象として技術研修を開催し、保全活動における課題を整理し情報発信を行うとともに、里地里山への支援が及ぼす効果についての検討を行うことにより、里地里山保全活動の展開を図ることを目的として実施した。</p> <p>(2) 具体的な内容</p> <p>(1)里なび研修会の実施 保全活動団体を主な対象として特徴的な取組事例の紹介、保全活動における技術的課題と解決手法、保全活動における工夫等、効果的かつ継続可能な取組とするための技術的な方策についての講演、事例報告を行う里なび研修会(開催場所計10ヶ所程度)を開催した。なお、研修会では開催場所ごとに、里地里山に造詣の深い専門家1名による講演、保全活動団体2団体程度による事例報告を行った。</p> <p>(2)技術的方策の整理 里なび研修会の成果を踏まえ、里地里山保全活動を促進させるための技術的方策を整理した。</p> <p>(3)里なびによる情報発信 全国の里地里山保全活動の継続・促進を図るため、(2)の技術的方策の整理を踏まえ、研修会の結果、概要及び保全活動に係る課題や解決のための手法、効果的かつ持続的な取組のための方策等の情報を追加した。</p> <p>(4)保全活動支援の効果検討 「平成19年度里地里山・里親プラン業務報告書」、「平成20年度里地里山保全再生活動支援委託業務報告書」、「平成21年度里地里山保全活動支援委託業務報告書」を参照し、これらの業務で行った各地域での研修会により、どの程度の効果を上げているかを確認した。</p>		
3. 交付先の公益法人の名称	財団法人 水と緑の惑星保全機構		
4. 交付実績額			14,910千円(A)
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費			8,884千円
(2) 一般管理費			1,850千円
(3) その他管理費			
	内容	金額	
	合計	0千円	
	合計	10,734千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助・再委託されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金額
			0千円
	合計	0千円(B)	
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金額
	謝金	専門家(講師)、事例報告者等	667千円
	旅費	専門家(講師)、事例報告者、職員等	1,476千円
	印刷製本費	印刷会社等	1,003千円
	通信運搬費	運輸会社等	296千円
	備料及び損料	会場等	20千円
	消耗品費	記録用DVD等	4千円
	合計	3,466千円	
7. その他			
	内容	金額	
	消費税	710千円	
	合計	710千円	
8. 再補助・再委託等の割合			0.0%(B/A)